

平成20年9月3日

各 位

会 社 名 日本ジャンボ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 村松 潔  
 ( J A S D A Q コード 9 6 7 7 )  
 問合せ先 常務取締役管理本部長  
 氏 名 高 橋 理  
 電話番号 0 4 6 5 - 6 0 - 2 5 0 0

平成20年9月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成19年11月26日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年9月期(平成19年10月1日から平成20年9月30日)の業績予想数値の修正

(1) 連結業績予想

(単位:百万円)

|                         | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 | 1株あたり<br>当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| 前回予想(A)                 | 20,430 | 1,906 | 1,992 | 996   | 139.03         |
| 今回修正(B)                 | 21,112 | 2,173 | 1,937 | 854   | 119.23         |
| 増減額(B-A)                | 682    | 267   | 55    | 141   | -              |
| 増減率(%)                  | 3.3%   | 14.0% | 2.8%  | 14.2% | -              |
| (ご参考)<br>前期実績(平成19年9月期) | 24,706 | 3,705 | 3,456 | 1,356 | 187.51         |

(2) 個別業績予想

(単位:百万円)

|                         | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 | 1株あたり<br>当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| 前回予想(A)                 | 7,085  | 266   | 613   | 306   | 42.84          |
| 今回修正(B)                 | 7,613  | 396   | 560   | 265   | 37.08          |
| 増減額(B-A)                | 527    | 130   | 53    | 41    | -              |
| 増減率(%)                  | 7.5%   | 48.9% | 8.8%  | 13.4% | -              |
| (ご参考)<br>前期実績(平成19年9月期) | 10,735 | 1,598 | 1,755 | 617   | 85.32          |

## 2. 平成20年9月期 通期業績予想の修正理由

当写真業界におきましては、デジタルカメラの急速な普及とともに銀塩フィルム写真市場における消費の低迷及び縮小が続いており、また、原油価格の高騰による物価上昇等の影響もあり消費者の節約志向が高まる傾向の中、当社をとりまく事業環境は非常に厳しい状況となっております。

このようにカラーフィルム販売及び現像プリントの減少が年々続いていることから、通期業績予想におきましてもある程度の売上高減少を見込み、業績予想として開示しておりましたが、現時点におきまして個別における写真事業においては当初予想していた減少額が予想を下回る傾向であり、結果として売上高が予想を上回る傾向にあります。

以上を踏まえ、個別業績予想につきましては、売上高が527百万円の修正となり、営業利益につきましても売上高の増加修正及び業務効率の向上に努めた結果、売上原価が低減する見込みから130百万円の修正となる予想です。なお、経常利益につきましては、平成20年6月12日に公表しておりました【営業外費用及び特別損失の発生並びに平成20年9月期中間期 業績予想の修正に関するお知らせ】にてお知らせしておりましたとおり、過年度より資金運用を実施しておりました複合金融商品（他社株転換社債及び株価指数連動債等）の時価の下落に伴う、有価証券運用損及び投資有価証券運用損をそれぞれ当中間期におきまして営業外費用として361百万円を計上していた影響もあることから53百万円の修正となる予想です。

当期純利益に関しましても、平成20年6月12日に公表しておりました【営業外費用及び特別損失の発生並びに平成20年9月期中間期 業績予想の修正に関するお知らせ】にてお知らせしておりましたとおり、投資有価証券における時価が著しく下落したものについて減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として60百万円を当中間期に計上していた影響もあることから41百万円の修正となる予想です。

連結業績予想につきましては概ね予想通りとなる見込みであります。上記における個別による影響を加味した結果、売上高に関しましては682百万円の修正となり、これに伴い営業利益に関しましても267百万円の修正、経常利益に関しましても55百万円の修正となる予想です。

なお、当期純利益に関しましては、個別による影響を加味したことから、平成20年6月12日に公表しておりました【営業外費用及び特別損失の発生並びに平成20年9月期中間期 業績予想の修正に関するお知らせ】にてお知らせしておりましたとおり、連結子会社にて役員退職慰労引当金の過年度発生額を特別損失として83百万円を当中間期に計上していた影響もあることから141百万円の修正となる予想です。

### （業績等の予想に関する注意事項）

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって、上記予想値と異なる場合があります。

以 上